

6月のできごと



玄関先も明るい雰囲気に

5月31日 ボランティアサークルさくら草(代表岩佐喜久子さん)によるプランター設置がぬくもりセンターで行われ、施設利用者の目を楽しませています。

設置されたプランターは、北海道地域活動振興協会の助成を受け購入したもので、8月下旬までさくら草のメンバーにより花の管理が行われます。



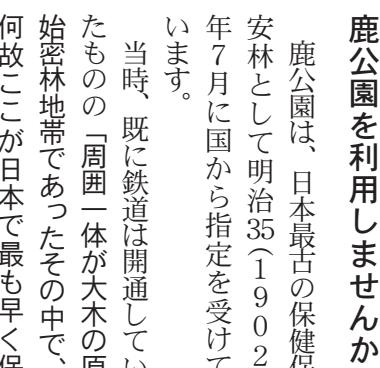
一投に勝負を賭けて
5月29日 全道高齢者ペタンク大会(20チーム参加)が開催されました。参加者の平均年齢は70歳。開会式では、最高齢者(男性86歳・女性83歳)表彰もあり、INE安平(板倉・中村・餌取組)もねんりんピック出場をかけて決勝進出を目指しました。

また、6月12日に開催された第12回ホスピタリティー安平ペタンク大会は、被災地岩手県や道内から64チームの参加があり、町内から出場した6チームは好調に予選を突破し、決勝では安平E(楽間・舛田組)が優勝を飾りました。



チエンバロコンサート
ソプラノ歌手根深さん(追分若草)のロビーコンサートでは色々な音楽を聞くことができましたが、今回はとてもめずらしい楽器の演奏とともに開催されました。

6月5日追分公民館のロビーに置かれたチエンバロ(英語ではハープシコード)はバロック音楽に欠かせない楽器の一つでピアノの源流とも言われています。見た目は似ていますがまったく違う構造を持ち独特的の音色を奏です。その繊細なチエンバロの音色と根深さんらの歌声は訪れたお客様を魅了していました。



鹿公園を利用しませんか

鹿公園は、日本最古の保健保安林として明治35(1902)年7月に国から指定を受けています。

当時、既に鉄道は開通していましたものの「周囲一体が大木の原始密林地帯であったその中で、



健保安林に指定されたかといふ疑問については解説できない。林野庁の保安林指定台帳の理由の欄には『不詳』とのみ記されているという。(追分町史抜粋)とありますが、現在に至っては駅から500m程度離れていない場所にこれほど自然を保ち、町民の憩いの場として整備されていることはとても意義のある指定だつたと思います。

町では3年前からパークゴルフ場・アスレチック施設・ドッグランなどの公園整備を行い、町民の憩いの場を充実させています。今年の春からすべての施設が利用ができるようになりましたので、身近な公園に一度足を運んでみてはどうでしょう。